

M・Hプロフィール

1947年(昭和22年)生

職務要約

三洋電機では1980年に米国子会社の副社長を任され、経営者としての素地を磨いた。
帰国後は電池事業を率い、携帯電話用のリチウムイオン二次電池で大きなシェアを獲得し、三洋のリチウムイオン二次電池部門を業界シェア首位に導いた。
2015年ジャパンディスプレイ発足時に代表取締役会長兼最高経営責任者（CEO）就任。
2017年以降は数社の顧問として経営に携わっている。

職務経歴

1970年4月 三洋電機株式会社入社
1975年10月 三洋電機貿易（株）北米営業部、第一営業課
1980年8月 Fisher Corp. (米国) 出向、上席副社長(LA)
1989年8月 三洋フィッシャー（米国）東部社長(NY)
1996年6月 帰国、三洋電機電池事業本部CRM事業部長
2001年4月 二次電池事業統括責任者就任
2002年4月 ソフトエナジーカンパニー副社長兼エネルギー戦略室長
2002年6月 三洋電機（株）執行役員
2003年4月 モバイルエナジーカンパニー社長
2004年4月 三洋電機（株）常務執行役員、電池事業担当
2005年4月 三洋電機（株）専務執行役員、パワーグループ長
2005年5月 社団法人 日本電池工業会 副会長就任
2006年2月 三洋電機（株）取締役就任、電池担当兼全社構造改革グループ長
9月 三洋ノースアメリカ（株）会長就任、
10月 本社電池事業担当兼グローバルマネジメント本部長
2007年5月 社団法人 日本電池工業会 会長就任
9月 三洋電機（株）コーポレートCRM担当
2008年4月 三洋電機（株）副社長執行役員 電池、電子部品事業担当
2009年4月 海外営業本部長兼HEV事業担当、グローバル渉外担当
2010年4月 エネルギー事業担当兼エネルギーソリューション事業担当
2010年6月 三洋電機（株）代表取締役副社長就任
2012年10月 パナソニック統合ステアリング委員（三洋代表）
2013年3月 三洋電機（株）副社長執行役員退任
2013年5月 社団法人 電池工業会 会長退任
6月24日 三洋電機（株）代表取締役副社長退任、客員就任
6月25日 台湾、エーサー株式会社顧問に就任
2013年 小池産業（株） 顧問就任
2013年 カーリットホールディングス（株）相談役就任（電池事業）
2015年
6月23日 （株）ジャパンディスプレイ代表取締役会長兼CEO就任

2017年6月27日 (株) ジャパンディスプレイ代表取締役会長、CEO 退任
2017年6月28日 (株) シリウス最高顧問
2018年4月1日 マクセル ホールディングス (株) Exe. Advisor 就任
2019年4月1日 マクセルホールディングス (株) Exec. Advisor 退任
2019年4月1日 (株) オプトラン顧問
2020年10月1日 エナックス株式会社 Executive Advisor

賞罰：1995年11月 米国 ADL 協会 S.David Feir Humanitarian Award 受賞
2011年11月 米国オレゴン州知事よりオレゴン州終身政府親善大使を拝命就任

活かせる経験・知識・能力

- ・ 副社長執行役員、取締役会長兼 CEO としての経営経験
- ・ 電池事業に関する知見

自己 PR

三洋電機で電池事業を世界一に導いた経験をもとに、社員の皆様に「勝ち癖を植え付ける」のが自身の使命と位置付ける。顧客の次の一手を先読みし、徹底的に競合を分析した上で自社の強みを発揮できる提案をぶつける。

重視するのが三洋時代に培った顧客情報管理 (CRM) の手法だ。私流の CRM の要諦は自社と顧客の各階層ごとに信頼関係を構築すること。トップとトップ、技術者と技術者が「共通言語」で議論を戦わせ、求める未来を共有する。

長年海外を含めて顧客企業に出向き、先方のトップと議論を戦わせてきた経験からも、アドバイスできればと思います。

参考 <https://style.nikkei.com/article/DGXZZO00196960Y6A420C1000000/?page=3>